

「主体的・対話的で深い学び」のために

科目『倫理』を使って、 共に考え、振り返り、つなげる活動

令和元年10月15日(月)

北海道高等学校「未来を切り拓く資質・能力を育む高校教育推進事業」

令和元年度(2019年度)授業改善セミナー

教科指導講座 道東ブロック「地理歴史・公民」

於：北海道釧路工業高等学校

発表者 北海道帯広柏葉高等学校 教諭 小林 央

◇ 昨年度から意識している授業展開

「主体的」「対話的」「深く」
他者の考えに触れ、他者と共に考え、振り返り、つなげる

…授業の中で「考える」機会を増やす 考えながら授業に参加する

「問い」を設定するこちらの意識改革

…他者の「考え」に触れる機会を増やす 考えをシェアする機会を設ける

ワークシート記入→プチ討議へ改善

…協力して調べ、構築し、伝えようとする

単元のまとめと振り返りを他者と協力して行う

◇ 私自身の意識の変化

昨年度から今年度にかけて、私の中で変化がありました。

倫理は暗記科目
受験に役に立たない

などと思われているのではないか…

暗記からの脱却と受験勉強への効果をねらう

「既習事項の理解を深める」という位置づけで一定の成果



「生徒の力になる」という自信が持てた

ということが大きいです。

◇ 今回の授業実践の概要 1 ～対象について～

対象…第2学年文型の3クラス(120名)

生徒ニーズの中心は「**共通テストとの結びつき**」である。



そこで、位置づけを「**単元のまとめ**」とし、**既習事項の理解を深める**…という視点をねらいの1つとしている。



主体的・対話的学び→**学習内容のとらえ方の変化**→さらに**深い学び**に

◇ 今年度のイメージ

活動的な学びに対する抵抗感が薄い
ある種の期待感を持っている生徒が多い



SCRUMや『総学』の取り組みがもたらした効果か…

各教科の取り組みが相乗的な効果となっていると考えられる

教科横断的な視点をもつ構成 ← カリキュラムマネジメント

◇ 学習指導要領のポイントから考えられること

(1) 思考力・判断力・表現力の育成

- ・ 授業の中でどうやって場面をつくっていくか また、どのように評価するか

(2) 言語活動の充実

- ・ 考察した過程や結果について適切に表現する能力と態度を育てるようにすること」
表現力 聞く → 書く → 話す

(3) 道徳教育の充実

- ・ 思考・考察→判断の過程で、異なる立場の考えや思いへと理解を促す工夫

(4) キャリア教育の充実

- ・ キャリア教育を考慮した授業←職業観や人生観につなげる工夫はできないか

◇ 必要と思われるアプローチ

(1) 目標から (学習指導要領や学校教育目標)

- この授業は (単元は) 生徒がどんな力をつけるためのものか？
- この授業から学ぶことが、教育活動の中でどんな役割を果たしているか？
- →学習指導要領の理解、**学校教育目標への意識**、身につけさせたい**資質・能力**

(2) 評価から (指導計画 評価規準 評価の観点 評価方法)

- 生徒がどうなったら (何を身につけたら) 成功なのか？
- どうやったら目標に対する到達度を客観的に見とれるのか？
- →評価規準、観点の明確化と適切な評価方法の選定、**目標とのつながりへの意識**

(3) ニーズから (生徒・保護者・地域の**ニーズ** 外部評価)

- 生徒・保護者・地域の願いは？
- **地域ごと、学校ごと、時代によって変化するニーズにどうアジャストする？**
- →生徒・保護者による授業評価、授業公開などの活用、**リサーチの重視と活用**

◇ 単元のねらい

◆単元：第2章 人間としての自覚 ギリシア思想～中国思想

1. ねらい

- (1) 現代に生きる私たちと、先哲の思想を**結びつけて考えられるようになる**こと。
- (2) 1つの物事を**多面的・多角的に捉え**、さまざまな立場から**考察し判断できる**ようになること。
- (3) 討議等の活動を通じて、自分と異なる考えの存在に気づき、**他者を理解する態度や公正に判断する力**を身につけること。
- (4) 討議や発表を通じて考察した過程や結果を**適切に表現する能力と態度**を養うこと。

◇ 単元の評価規準

◆単元：第2章 人間としての自覚 ギリシア思想～中国思想

2. 評価規準

- (1) **主体的に討議に参加し、他者を理解し協力して**結論を見いだそうとしている。
- (2) 吸収した知識を、**自らのこととつなげて**考えようとしている。
- (3) **自己の立場のみに固執することなく、他者の意見に耳を傾け、多面的・多角的に捉えよう**としている。
- (4) **適切な表現**で聞く人に伝えることができる。また、他者の発表をその**本旨**を考えながら聞き、**自己の考え方を広げることができる**。

◇ 授業で学習した内容について…

多面的・多角的に**探究する態度**を身につける

資料を活用し、理解を深めようとする姿勢を身につける

生きる主体として自己確立の課題と**つなげて理解**する



日常の授業で学習した内容を
人格形成や問題解決に生かすための知識にする

◇ 今回の授業実践の概要 1 ～昨年度との違い～

昨年度：近い座席の生徒グループを作ってからテーマを選んだ



今年度：先に個人でテーマを決め、同テーマの者でグループを作った

今年度の実施に際して評価法についても検討しましたが、こちらの負担が増えると自分自身が嫌になりそうなので、結局は簡潔な形にしました。

現3年生の状況から、

「即時的な成果よりも、その後に現れる生徒の変化を重要視すべきであるということが見えてきた」

ということもあります。

◇ 今回の授業実践の概要 2 ～生徒に配布したプリント～

これまで学習してきた先哲の思想をまとめておきたいと思います。

- 1 ギリシア思想…プロタゴラス・ゴルギアスの「相対主義」
ソクラテスの「無知の知」「汝自身を知れ」「問答法」「よく生きる」
プラトンの「イデア」「エロース」「四元徳」「哲人政治」
アリストテレスの「観想的な生活」「メソテース」「正義と友愛」
エピクロスの「快楽主義」ゼノンの「禁欲主義」
- 2 キリスト教……ユダヤ教の「選民思想」
イエスの「アガペー」「神への愛」「隣人愛」「黄金律」
- 3 イスラーム……ムハンマドの「平等と同胞愛」
- 4 古代インド……ウパニシャッドの「輪廻と業」
- 5 仏教思想……仏陀の「縁起」「四諦と八正道(中道)」「慈悲」
- 6 墨家……墨子の「兼愛」「非攻」「交利」
- 7 儒家の思想…孔子の「仁」と「徳治主義」孟子の「性善説」荀子の「性悪説」
- 8 老荘思想……老子の「無為自然」「柔弱謙下」荘子の「万物斉同」「真人」

それぞれの人物が展開した思想には、共通点や違いがありますが、現代に生きる私たちに対する「メッセージ」が含まれていると思います。

◇ 今回の授業実践の概要 2 ～生徒に配布したプリント～

① 個人でテーマを1つ選んでください。

「愛」 「平等」 「幸福」 「信頼」 「正義」 「思いやり」

② 選んだテーマについて、現代に生きる私たちの現状はどうか、考えて書いてください。自分自身のこと、世の中のこと、視点はさまざまです。自分が思うところを書き出してください。

*ワークシートAに記入

③ 選んだテーマに基づきグループに分かれます。テーマについて、現代社会がどんな課題を持っているか、現代に生きる私たちの現状はどうか、話し合ってみてください。グループ内で現在の世の中について、欠けていることや必要だと思うことなど、自由に出し合いましょう。

*ワークシートBにメモをとりながら、意見を出し合う

④ これまで学んできた思想が、グループのテーマについてどのようにとらえていたか、授業の内容、教科書、資料集を参考にしながら振り返ってください。

*ワークシートCにメモをとりながら、振り返り、調べ、話し合う

⑤ 彼らの思想が私たちに示唆していることは何なのか、話し合いをもとにまとめましょう。これからの自分たちの生き方にどう生かせるかな？

*ワークシートDに記入して発表の準備（構成・役割分担などを含む）

⑥ 話し合った内容について、発表します。

*①グループのテーマ→②と③で出た内容→④の思想→⑤でまとめた内容

◇ 今回の授業実践の概要 2 ～記入シート1～

倫理 人間としての自覚 単元のまとめ 記入シート1

2年 組 番 氏名

- ① あなたが現代が抱える問題や、これまで授業で学んだ内容で、考えてみたいテーマを下から1つ選んで○をつけてください。

「愛」 「平等」 「幸福」 「信頼」 「正義」 「思いやり」

- ② ①で選んだテーマについて、現代に生きる私たちの現状について、報道などの内容や自分自身の経験したことをもとに、問題点や課題、現代に欠けていることなどを考えてみてください。
(これを持ち寄ってグループで話し合います)

<hr/> <hr/> <hr/>

◇ グループ討議と発表の流れ

1 時間目

- | | |
|------------------------|-----|
| ① 全体の流れと心がけてほしいことを説明 | 5分 |
| ② 個人テーマの設定と個人シートの記入 | 5分 |
| ③ グループ分けと現代社会についての討議 | 15分 |
| ④ 学んできた思想との結びつきについての討議 | 15分 |
| ⑤ 発表内容のまとめと発表者の選定 | 10分 |

2 時間目

- | | |
|---|----|
| ① 各グループ発表 1～3分×7～8グループ = 15～25分ぐらい
* 実際には20分程度 | |
| ② 教員からの振り返りと感想 | 5分 |
| * 今後につながるような内容 → 残り時間は続きの授業 | |
| ③ 振り返りシートの配布・記入 (次時回収) | |

◇ グループ討議と発表の心がけとして… ～生徒に話した内容～

○ 無理に結論を求めないこと

→発表は、「こんな話になった」という内容でもいい。

他のグループに、話し合いの内容を知ってもらうことが重要。

○ 自分の考えに固執しないこと

→自分の経験談など、具体的な例をたくさん語ろう。

他者の考えに触れることを大切にして話し合おう。

「こんな考え方もあるのか～」とすることが重要。

○ 脱線しても全然よし

→こんな話になった…ということ、発表のときに伝えられたらOK。

○ 発表は「伝えること」をメインにすること

→きれいにまとめる必要はない。グループ討議の内容を伝えることが大切。

○ 一番大切なのは、他者の考えに触れること

→グループ内の討議同様、「こんな考え方もあるのか～」とすることが重要。

◇グループ分けの際に予想外の事態

全部で24グループできましたが、概ね4～7人ほど。
しかし、2人ぼっちのグループが3つもできてしまいました。

人数調整も考えたのですが、今回は最初に自分でテーマを選ぶかたちをとっていたので、「せっかく自分で選んだのだから」と、そのまま2人でやらせてみました。

「多くの考えに触れる」ということで考えると、深まりや広がりが不足してしまったと反省しています。

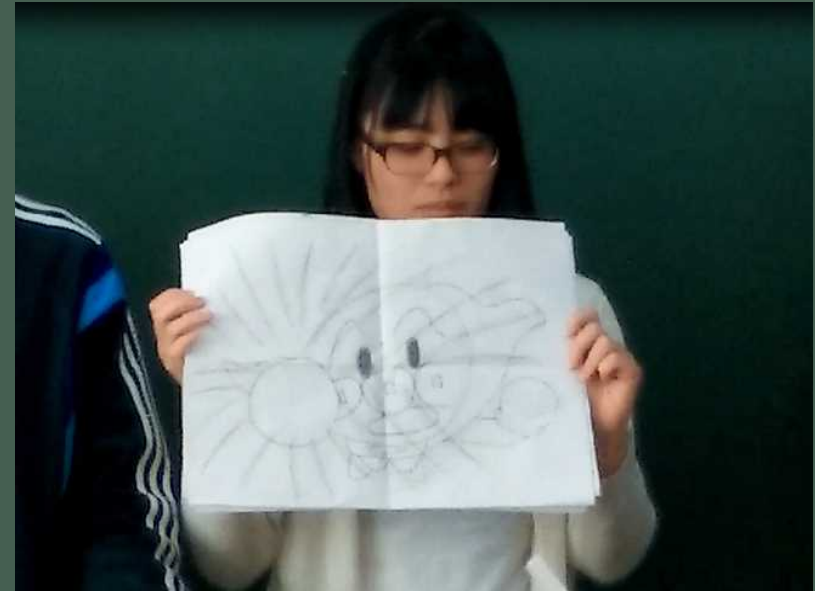
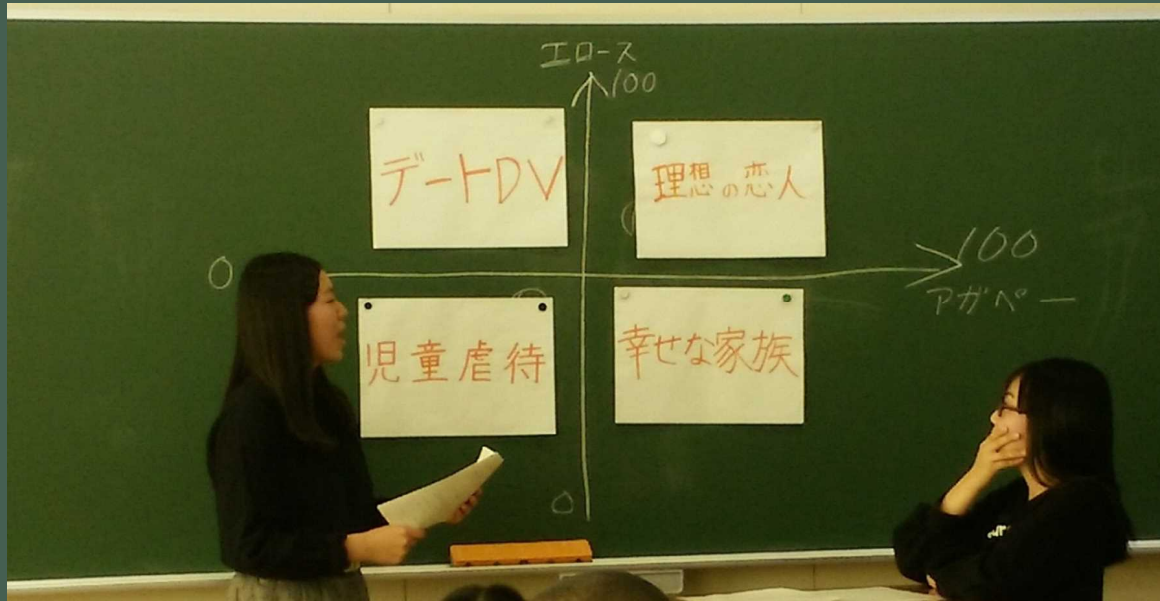
◇グループ討議

昨年度は近所で机をくっつけたただけでしたが、今年度はテーマを先に選んでいたため、はじめからスムーズに討議が進みました。

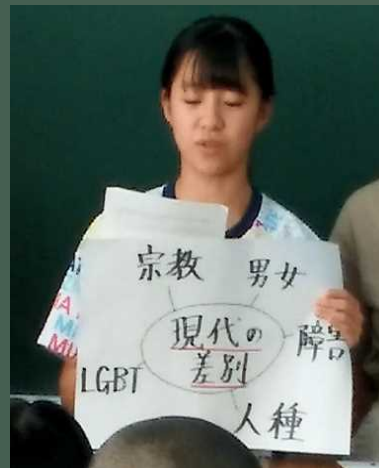
討議の間、時間を知らせる以外は**基本的には放置**ですが、討議が停滞しているグループには、「○○はどうだろう？」などと水を向けながら、何となく話が進むように仕向けていきました。

『**SCRUM**』の各教科での取り組みや、『**総合的な学習の時間**』で1年次に実施した「まわし読み新聞」，「班別の調べ学習」の成果も出ているのか、活発に討議が進んでいきました。

◇発表



短時間の中で、わかりやすく伝える工夫をしていました。フリップ芸が多かったのは、コミュ英でポスターセッションを経験しているからでしょうか。



◇ 自己評価と感想から

主体性や他者受容、知識の定着と深化という観点で、以下の項目で振り返りをしてもらいました。
評価については、やりやすさ(こちらの負担とならないこと)を重視しています。

～生徒に配布した振り返りプリント～

倫理 人間としての自覚 単元のまとめ 振り返り

- | | | | | |
|---|----------------------|-----|---|--------|
| 1 | 話し合いに主体的に関わることが | できた | ・ | できなかった |
| 2 | グループの他者の話を聞き考えることが | できた | ・ | できなかった |
| 3 | 他者と協力し話し合いを円滑に進めることが | できた | ・ | できなかった |
| 4 | 学習内容を自分のこととして考えることが | できた | ・ | できなかった |
| 5 | 今回のまとめを通じて学びを深めることが | できた | ・ | できなかった |
| 6 | 今回のまとめの感想（自由記入） | | | |

◇ 振り返りの結果

- | | | | | |
|---|----------------------|-----|---|--------|
| 1 | 話し合いに主体的に関わることが | できた | ・ | できなかった |
| 2 | グループの他者の話を聞き考えることが | できた | ・ | できなかった |
| 3 | 他者と協力し話し合いを円滑に進めることが | できた | ・ | できなかった |
| 4 | 学習内容を自分のこととして考えることが | できた | ・ | できなかった |
| 5 | 今回のまとめを通じて学びを深めることが | できた | ・ | できなかった |
| 6 | 今回のまとめの感想（自由記入） | | | |

1と3については、各クラスで3～4名が「できなかった」と回答していましたが、そのような生徒でも、感想（自由記入）欄には、比較的前向きなコメントが多かった印象です。

2,4,5,6については、全員が「できた」という回答でした。

◇ 自由記入欄から ～こちらのねらいが明確だと伝わるのかも～

○ 以下、多かった感想

- ・ 授業の復習になった
- ・ 授業で習った内容を深めることができた
- ・ 勉強は暗記じゃないということがわかった
- ・ 思想の共通点が見えてきた
- ・ 話し合いの中で考え方の幅が広がった
- ・ 現代と先哲の思想の結びつきがわかって面白かった
- ・ 倫理は面白い
- ・ 倫理は生活に役立つと思った
- ・ 倫理のイメージが良くなった
- ・ またやりたい

などなど…

◇ 自由記入欄から ～様々なことを考えることができたようです～

私は、平等について考えました。私のグループでは万物斉同について取り上げましたが、改めて考えてみると、それはどこか強引な平等ではないかと思いました。

この世の中の物は違いがあって当然なのに、大きくひとくくりにしているという点です。例えば人間の社会でも差別や差別などの問題があります。だからといって社会的身分や地位を無くす必要はないと思います。むしろ、現代にはなくてはならないものだと思います。

大切なのは、こういった社会的地位や権力を利用して人に接してしまうことだと思います。たとえ社会的地位が高かったとしても、一人の同じ人間として接するのがと本当の平等だと思います。

皆に愛を持っていたら、平等になり、幸福になり、信頼し合えて、他の正義を理解できて、思いやりを持って接せる。皆が幸福なら、愛を持てるし、平等になり、信頼し、正義を持ち、思いやりが持てる。結局、全てが同じ結末を持っているなと思った。

先人の言う言葉も、理想としたところは皆同じなのではないだろうか？

けどはっきり言えば、全てのものに思いやりをあたえるなど不可能だ。けれど、何百、何千年の間、それを目指しつづけてきた人間って、バカだけどすごいなあと思う。

◇ SCRUMとの絡み… 授業改善週間と生徒による授業アンケート

9月24日～10月8日 SCRUMの一環で授業改善週間が設定されました。

○教科に関わらず、互いに授業を参観できる期間です。

→教員間では「授業評価シート」で相互に評価します。

○授業の際に、各教科担任が生徒にアンケートを実施します。

→「授業アンケート」で、授業者の進度、内容、展開、技術、思考判断表現への配慮について、生徒からの評価(意見)をもらい、授業改善に役立てます。

生徒たちが、わかる授業、興味がわく授業、力がつく授業を求めていることがわかります。先生方も、「それに応えよう！」という意欲につながっているようです。

教科の枠を超えて教員が相互に授業を参観する機会は、「気づき」につながります。授業改善のためには、もっとも「ためになる」機会になると感じています。

7月には、教務部主管で「生徒による授業評価」も実施しています。こちらでも「生徒の声」を聞き、改善に役立てる機会となっています。

◇その他、昨年度からここまでの取り組み

○グループ討議 「嘘」 についてはいけないのか？

カントの道徳論と義務論の限界について3つの視点から考える。 プリント配布

- ①「普遍的な法則になりうるような規範に従って行動せよ」
- ②「あなた自身や他の人間を単なる手段としてのみ利用するような行動をしてはならない」
- ③「自律の原則」 自律とは、自分から進んで主体的に正義を守ることである。

「嘘」を題材にした少しずつ違う事例を、グループごとに配付

(各グループに違う事例が配られていることは伏せておく)

発表のあとで、各グループの事例文を読み上げさせる。

→功利主義道徳につなげる「まとめ」 + 「導入」

○思考実験的な事例について「**プチ討議**」をする、「**経験をシェア**」するなどのことは、今年度とくに意識して取り入れています。

◇ 課題

- ・ 欠席した生徒の評価が難しいという問題についてはまわります。
当日公欠で残念がっていた生徒がいました。
(レポート等に対応しても、学びの質が変わってしまうので、悩ましいところです)
- ・ 日常の授業で、自分と結びつけさせる具体例の提示、発問などの工夫も必要です。
→ 「考えること」を習慣化するための日々の「小さなこと」の積み重ねが重要
- ・ グループの人数は重要だと大いに反省しました。思考の広がりや深まりを考えると、5～6人が適切だと思われます。

日常の中で、考えさせる工夫をいかにするか…というのが、常に最大の課題です。

◇ 成果

昨年度、思い切って「**考えさせ、対話させ、表現させ…**」という授業を意識して展開しましたが、生徒たちの学びの質への効果は少なからずあったと思われまます。

現3年生は受験勉強真っ只中ですが、ただ用語を暗記するという勉強法から一歩進んで結果を出している生徒も多く見られます。少なくとも、活動的な授業が生徒のものの見方や考え方に影響し、彼らの力になっているということは言えると思います。

今回、歌ったグループを見て、次へのアイデアが浮かんできました。

「歌詞と思想のつながり」というのも面白いかも。などと、くだらないことを考えています。

もっとも大切なのは、こちらが生徒と一緒に楽しむことなのかもしれません。